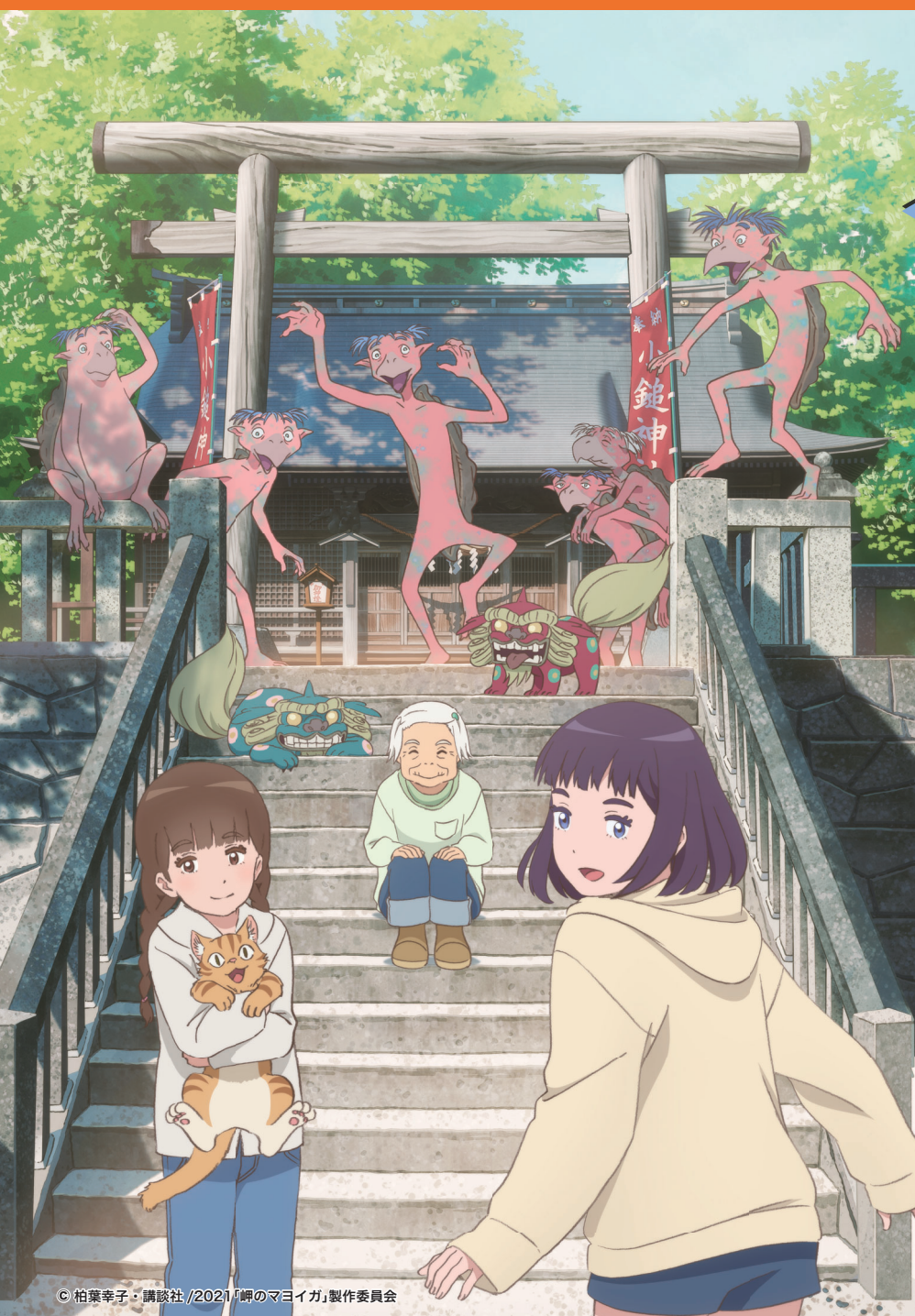


シンポジウム

「アニメーションと被災地の記憶— 映画『岬のマヨイガ』をめぐる アニメーション・ツーリズム・ フォークロアの可能性」



© 柏葉幸子・講談社/2021「岬のマヨイガ」製作委員会

- 会場 / ZOOM オンライン (ウェビナー)
- 共催 / 横浜国立大学地域連携推進機構 Next Urban Lab・日本アニメーション学会
- 企画協力 / 日本アニメーション学会東日本支部
- 参加費無料・事前登録制

詳細は www.jsas.net へ

2022
2/20 SUN
13:00 ~ 15:30
参加無料

PANELISTS

高瀬透子

株式会社フジテレビジョン 編成制作局
映画・アニメ事業センター アニメ制作部統括プロデューサー
「ずっとおうえん。プロジェクト2011+10…」について

平賀聡

岩手県大槌町観光交流協会事務局長
「震災復興、観光、エンターテインメント」

松本淳

日本アニメーション学会理事・敬和学園大学
「アニメ舞台探訪とダークツーリズム」

石倉敏明

人類学者・秋田公立美術大学
「時を超える記憶と物語の再生」

お申込みは
こちらから



「アニメーションと被災地の記憶—映画『岬のマヨイガ』をめぐるアニメーション・ツーリズム・フォークロアの可能性」

12:50 開場
13:00 挨拶・主旨説明 須川亜紀子(日本アニメーション学会会長・横浜国立大学)
13:10 シンポジウム

■高瀬透子
(株式会社フジテレビジョン 編成制作局 映画・アニメ事業センター アニメ制作部統括プロデューサー) 「ずっとおうえん。プロジェクト2011+10…」について」

■平賀聡(岩手県大槌町観光交流協会事務局長)
「震災復興、観光、エンターテインメント」

■安藤彰紀(岩手県大槌町産業振興課商工観光班主任)
「大槌町とエンターテインメント、今後の展望」

■松本淳(日本アニメーション学会理事・敬和学園大学)
「アニメ舞台探訪とダークツーリズム」

■石倉敏明(人類学者／秋田公立美術大学大学院)
「時を超える記憶と物語の再生」

14:30 <休憩>

14:40 ディスカッション、質疑応答
ディスカッサント: 藤津亮太(日本アニメーション学会会員・アニメ評論家)、
須川亜紀子(日本アニメーション学会会長・横浜国立大学)、
キム・ジュニアン(日本アニメーション学会副会長・新潟大学)

15:25 閉会挨拶

プロフィール

高瀬透子

株式会社フジテレビジョン編成制作局映画・アニメ事業センター アニメ制作部長。「ずっとおうえん。プロジェクト2011+10…」総括プロデューサーとして、TVアニメ『バクテン!!』(2021)、映画『岬のマヨイガ』(2021)、『フラ・フラダンス』(2021)『映画バクテン!!』(2022)を手掛ける。総括をつとめるTVアニメ『王様ランキング』(2021～)『平家物語』(2022)は現在放送中。

平賀聡

岩手県大槌町観光交流協会事務局長。2018年、(一社)大槌町観光交流協会の設立時から現職を担う。大槌町には震災応援職員として赴任し、復興計画の改定や地域コミュニティの活性化等に取り組む。その傍ら、おおつちバラエティーショーを企画し有志で活動。現在は、大槌町の観光プログラム全般の開発・発信に取り組む中で、当該コンテンツの将来性及び独創性に期待するもの。自身はアニメ・エンタメ系の感性がかなり低いアナログタイプである。

安藤彰紀

岩手県大槌町産業振興課商工観光班主任。大槌町アニメーション担当。2022年以降公開予定で町オリジナルアニメーション2作品を準備中。2014年から兎塚エイジ氏デザインによるオリジナルアニメ「曲花村役場(仮)」、2015年から「おおつちバラエティーショー」を有志とともに開始し、アニメ、実写、演劇、音楽、体験移住を活用したメディアミックス地域おこしに携わる。目を引く動画はコマ単位で描線を研究する派。ほかに特撮・時代劇ファン。

松本淳

IT・出版・広告代理店、映画会社などを経て、フリージャーナリスト・プロデューサーとして約10年活動ののち、2019年に敬和学園大学人文学部国際文化学科に着任(准教授)。同年NPO法人アニメ産業イノベーション会議を設立(理事長)。デジタルハリウッド大学院DCM修士(専門職)・東京大学大学院社会情報学修士(社会情報学)。著書に『コンテンツビジネス・デジタルシフト』(NTT出版)、『コンテンツが拓く地域の可能性』(同文館・大谷尚之・山村高淑との共著)など。

石倉敏明

秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科・美術学部アーツ&ルーツ専攻准教授。専門は芸術人類学、神話学。ダージリン、シッキム、カトマンドゥや日本の東北各地でフィールドワークを行い、環太平洋地域の比較神話学や非人間種のイメージを巡る芸術人類学的研究を行う。近年は秋田を拠点に、北東北の文化的ルーツに根ざした芸術表現の可能性を研究する。2019年には「第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際芸術展」の日本館展示『Cosmo-Eggs|宇宙の卵』に参加。著書に『野生めぐり 列島神話の源流に触れる12の旅』、『Lexicon 現代人類学』など。